

平成 20 年度当初予算 施策別概要

132 スポーツの振興

(主担当部 : 教育委員会)

13201	地域スポーツの推進	(教育委員会)
13202	競技スポーツの充実	(教育委員会)
13203	スポーツ施設の整備・運営	(教育委員会)

< 施策の目的 >

(対象) 県民が

(意図) それぞれの好み、年齢や体力等に応じて、スポーツに親しんでいる

< 施策の数値目標 >

施策目標項目 (主指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H22 年度
公立スポーツ施設の利用者数	目標値	-	6,740,000 人	6,820,000 人	6,970,000 人
	実績値	6,612,131 人			

県営スポーツ施設 (教育委員会所管外の施設も含む) および市町のスポーツ施設の年間利用者数の合計

施策目標項目 (副指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H22 年度
総合型地域スポーツクラブの会員数	目標値	-	22,500 人	23,900 人	26,700 人
	実績値	21,171 人			
全国大会における入賞数	目標値	-	76 件	79 件	85 件
	実績値	76 件			

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・余暇時間の増大や健康志向の高まりにより多様化する県民のスポーツニーズに対応するため、県民一人ひとりが体力や好みに応じて多様なスポーツに取り組むことができる環境づくりが求められています。
- ・国民体育大会をはじめとして三重県のスポーツの競技水準は、依然として低位にあることから、今後も競技力の向上に取り組むことが求められています。
- ・県営スポーツ施設がより多くの県民に利用されるよう、利用者のニーズに応じた整備・運営に取り組む必要があります。

< 平成 20 年度の取組方向 >

県民の多様なスポーツニーズに応えるため、県民が主体となって運営する総合型地域スポーツクラブの設立、育成を支援するとともに、みえスポーツフェスティバルを開催します。

「 2009 年第 29 回世界新体操選手権三重大会 」の開催に向けて、大会の準備に取り組みます。

競技力の向上をはかるため、長期的な視野に立って、子どもたちの発達段階に応じた一貫した指導を推進するとともに、各競技団体と連携して、国内外の大会で活躍できる選手の育成と、

指導者の養成をはかります。

県営スポーツ施設については、良好な競技環境の整備と安全性の向上に努めるとともに、指定管理者制度のメリットを生かしながら効果的、効率的な管理運営を進め、利用者へのサービス向上をはかります。

<主な事業>

(重) 総合型地域スポーツクラブサポート事業【基本事業名：13201 地域スポーツの推進】

予算額： 5,464千円 5,644千円

事業概要：クラブ運営に必要な能力を持った人材や、誰もが楽しむことのできるニュースポーツの指導者などの養成をはかるため、講習会を開催します。また、県内5地域でクラブ代表者等を対象とした研修会を実施し、各クラブの実態把握を行うとともに、課題解決に向けて連携の強化をはかります。

世界新体操選手権大会開催準備事業【基本事業名：13201 地域スポーツの推進】

予算額： 44,689千円 73,393千円

事業概要：「2009年第29回世界新体操選手権三重大会」の開催に向け、計画の作成や、参加各国への周知など大会運営にかかる諸準備を進めます。また、スポンサーの確保や、県民の関心を向上させるための戦略的な広報活動を進めていきます。

(重) トップアスリート養成事業【基本事業名：13202 競技スポーツの充実】

予算額： 95,274千円 92,040千円

事業概要：各競技団体が、県内各地域の優秀な素質を持つジュニア競技者をスポーツ教室等により発掘し、一貫した指導体制の下で、競技者の身体の発達や競技レベルに応じた組織的・計画的な育成に取り組み、国内外で活躍できるトップアスリートの養成を効果的に進めます。

競技力向上特別事業【基本事業名：13202 競技スポーツの充実】

予算額： 32,746千円 32,722千円

事業概要：国民体育大会を中心とした本県競技力向上のため、三重県競技力向上推進委員会を設置し、選手の強化対策及び指導者の養成に取り組みます。また、「2009年第29回世界新体操選手権大会三重大会」の開催を契機として、新体操競技の普及と選手の育成をはかります。

県営鈴鹿スポーツガーデン事業【基本事業名：13203 スポーツ施設の整備・運営】

予算額： 354,776千円 552,606千円

事業概要：利用者のニーズに応じた運営を行うため、水泳場やサッカー・ラグビー場等の施設の改修、整備を実施します。